

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

2023 年（令和 5 年）度の事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ゆう

## 1 事業の成果

・2013 年 12 月から「就労継続支援 B 型事業所」へ移行し、10 年 4 か月経過しました。  
・「就労継続支援 B 型事業所作業所ゆう」には、4 月には 9 名でスタートし、利用のない利用者 1 名で、実質は 8 名の利用となった。それぞれが相談支援専門員と「サービス等利用計画」をたて、作業所内でも「個別支援計画」をたて、それに沿った支援をしていきました。

・作業内容としては、「自然食品と手づくり品の店ゆう」の日々の業務として、商品の値付け・棚並べ・販売をしました。店として成り立たせるために、掃除や花植え、賞味期限チェックなども毎日地道にやっていました。

・前年度同様、コロナ感染予防で販売を見合わせられたところは再開のめどは付かず、作業所内での作業が主になっていきました。手づくり品、主にアート布巾を縫ったり・eco で art な紙袋に絵付けをしています。その他、いろいろな手づくり品の開発をしながら過ごしています。1 か所、販売を休止していたところでの販売は再開できました。

・カタログでの販売もしています。委託販売もしています。2 か所で、それぞれのニーズにあった商品（自然食品のお菓子や手づくり品）を委託しています。

・BIG はっぴースタデイは今年度はコロナの規制緩和もあり、県外へのお出かけもありました。はっぴースタデイとは、計画するところから参加して、場所や準備物について調べたり、考えたり、しおりや報告書をつくったりと訓練的な要素をもつものとしての名称です。

・「ゆう祭り☆2023」では、ゆうのなかで、利用者とともに抽選会やクイズなど楽しみ、それからおいしいお弁当とケーキを食べました。

・日中一時支援「アフターゆう」は、利用者一名になり、旅行のガイド雑誌を見たり、職員との談話を楽しんだりして過ごしました。

これらの日々の支援を充実させるために、理事会やスタッフミーティングでの内部研修や、以下の研修会に参加して知識を増やし、スキルをあげるよう努力しています。習得した知識をスタッフミーティング等で伝達講習をしました。「九州自然食品協同組合・合同支部会研修会」「優生保護法を考える市民の集い研修」「自殺のリスク評価と対応研修」「障がい福祉サービス事業所説明会」などです。

・2022 年度に発足した「感染症対策委員会」、「虐待防止委員会」、「身体拘束の適正化対策委員会」もスタッフミーティング時に開催。研修も「新型コロナウイルス感染症にかかる業務継続研修」「障がい者虐待防止・権利擁護研修」「身体拘束などの適正化対策研修」等実施した。

・通信発行と随時、ブログ「ゆうのわいわいドタバタ日記」で広報活動もしました。通信は 2023 年度は発行頻度が低かったため、3 ヶ月に 1 度の発行が出来るよう頑張りたいです。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数
(1) 障害者総合支援法に基づく、障害のある人たちの居場所作りや社会参加をするための福祉サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援B型事業</li> <li>・日中一時支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A)2023年4月1日～2024年3月31日</li> <li>(B)ゆう</li> <li>(C)20名</li> <li>(A)2023年4月1日～2024年3月31日</li> <li>(B)ゆう</li> <li>(C)1名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(D)大分市内の利用者</li> <li>(E)8名</li> <li>(D)大分市内の利用者</li> <li>(E)1名</li> </ul>
(2) 地域社会との交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業所ゆうにおける「自然食品と手づくり品の店ゆう」運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A)2023年4月1日～2024年3月31日</li> <li>(B)ゆう</li> <li>(C)9名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(D)一般のお客様</li> <li>(E)のべ1600人</li> </ul>

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

活 動 計 算 書

2023年4月1日より2024年3月31日まで  
(単位：円)

科 目	金 額		合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	24,000		
応援会員受取会費	3,000	27,000	
2. 受取寄付金			0
3. 事業収益			
受託事業収益	15,740,186		
自主事業収益	7,613,572		
事業収益計		23,353,758	
4. その他収益			
その他収益計			0
経常収益計			23,380,758
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
職員給料	7,949,411		
非常勤職員給料	2,889,541		
工賃	1,484,704		
法定福利費	882,663		
福利厚生費	796,305		
人件費計	14,002,654		
(2)その他経費			
仕入・材料	5,658,307		
租税公課	5,700		
地代家賃	1,056,000		
旅費交通費	389,556		
通信運搬費	161,143		
消耗品費	48,844		
広告宣伝費	22,047		
研究研修費	12,000		
訓練指導費	41,782		
教養娯楽費	28,895		
印刷製本費	63,462		
会議費	908		
水道光熱費	407,712		
車両費	235,685		
保険料	110,320		
交際費	26,209		
業務委託費	335,160		
雑費	146,642		
その他経費計	8,750,372		
事業費計		22,753,026	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
租税公課	900		
減価償却費	181,238		
雑費	4,800		
その他経費計	186,938		
管理費計		186,938	
経常費用計			22,939,964
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			4,896,111
当期正味財産増減額			440,794
次期繰越正味財産額			5,336,905

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	3,446,412		
普通預金	0		
定期積金	1,100,000		
流動資産合計		4,546,412	
2 固定資産			
設備	174,613		
什器備品	413,879		
車両	1		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		790,493	
資産合計			5,336,905
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		4,896,111	
当期正味財産増減額		440,794	
正味財産合計			5,336,905
負債および正味財産合計			5,336,905

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3,446,412		
定期積金(信金)	1,100,000		
流動資産合計		4,546,412	
2 固定資産			
電動シャッター	111,104		
洋式トイレ	63,509		
コピー機	1		
パソコン	1		
ラジエントヒーター	1		
冷凍冷蔵ショーケース	413,875		
レジスター	1		
ホンダステップワゴン	1		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		790,493	
資産合計			5,336,905
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			5,336,905